

防災科学理数探究講座

地震災害の対策技術を知ろう

6/21(土)

9:30~15:30

@宇都宮大学

陽東キャンパス



どんな人に向いてる講座？

- ・ **どの学年でも参加できます**。文理選択前の1年生から受験を控えた3年生まで大歓迎。昨年受講した方も是非！
- ・ どちらかというと理系科目が得意だけど、大学で何を学ぶか**模索中**の人 ▶ 分野を知り選択肢が広がります。
- ・ **地域社会に貢献**するキャリアを築きたい人 ▶ あなたの／誰かの大切な人を守る知識・技術に触れられます。
- ・ **地震災害の理解や対策を学びたい**人 ▶ 学びたいことが明確な人は関心を深められ、大学の先生に相談できます。
- ・ **国内でも海外でも活躍**できる知識・技術を身に付けたい人 ▶ 公務員志向にも、グローバル企業志向にも対応。
- ・ **大学受験の参考**にしたい人 ▶ 一般／総合型などの受験種や受験先を問わず重要な進学後の学びを体験できます。
- ・ その他、明確な理由はないけど**ちょっと気になる**って人も是非 ▶ なぜ気になったのか、答えがわかるかも。



プログラム

時間は大体の目安です

9:30~10:20

自分の「今」を知ろう！ ▶ 地震災害対策や大学での学び、職業などについてどんなイメージをもっているかな？

10:30~12:00

オープニングトーク ▶ 大学ではどのような分野で地震災害対策を学ぶのかな？知っているようで、実はよく知られていない？

12:00~13:00

個別探究講座 ▶ 3つの講座に分かれて、実験など大学での学びを体験。大学生や大学院生のサポートもあるので大丈夫。

13:00~14:20

お昼休み ▶ 教室やオープンスペースなどで自由に昼食をとれます。隣接するコンビニには広いイートインコーナーもあります。

14:30~15:30

個別探究講座の振り返り ▶ わかったことや学んだことをワークシートにまとめ共有したり、先生たちからコメントをもらって理解を深めます。

質問タイム ▶ 大学の先生に加えて、公務員、企業の方々も参加。講座のこと、大学のこと、職業のこと、その他気になることに、どんどん答えます。

ラップアップ ▶ 今日の講座で学んだことが、今の高校での学びとどう関り、大学での学びにどう繋がり、社会にどう貢献するのかな？

自分の変化を知ろう！ ▶ 地震災害対策や大学での学び、職業などについてのイメージはどうなったかな？確認してみよう。

希望者のみ15:30~

フリー相談タイム ▶ 聞きたいこと、気になることがたくさんあっても大丈夫。講座後に大学の先生、公務員、企業の方々に個別相談したり、自由にお話しできる時間を作ります。



個別探究講座、プログラム担当

■ 橋梁被害の対策技術

- ・ 藤倉修一 教授（宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科・構造研究室）
- ・ 国内外での橋の設計経験があり、海外では、アメリカを中心に、イギリス、香港などで行っている。専門は、地震から橋を守る地震防災工学。2016年熊本地震、2024年能登半島地震などで橋の被害調査を行う。

■ 土砂災害の対策技術

- ・ 海野寿康 教授（宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科・土質研究室）
- ・ 専門は地震時の液状化、斜面崩壊。主に自然災害時の土・地盤の災害メカニズムを研究。近年では、2018年北海道胆振東部地震、令和元年東日本台風災害、2024年能登半島地震などで現場調査を行う。愛猫家。

■ 津波災害の対策技術

- ・ 飯村耕介 准教授（宇都宮大学地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科・流域デザイン研究室）
- ・ 津波や豪雨による河川の氾濫について研究。近年では、平成27年関東・東北豪雨や令和元年東日本台風における被害調査や「流域治水」などの水害対策について栃木県など各自治体とも連携しながら進めている。

□ 講座デザイン、探究担当：出口明子 教授（宇都宮大学共同教育学部自然科学系（理科））

評価デザイン担当：白石智子 准教授（宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科）